

病害虫発生予察注意報第3号

令和8年8月7日
三重県病害虫防除所

**果樹カメムシ類の誘殺数が多くなっています。
園内で飛来を確認した場合は薬剤防除を行ってください。**

1 対象作物：ナシ、ブドウ、かんきつ類、カキ等果樹類

2 対象病害虫名：果樹カメムシ類

(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)

3 発生地域：県内全域

4 発生時期：8月から10月

5 発生量：多

6 注意報発令の根拠

- (1) 予察灯(松阪市)における7月1日から31日の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは2,924頭(平成949頭)、ツヤアオカメムシでは566頭(平成179頭)、クサギカメムシでは1,837頭(平成376頭)と、いずれも多い状況です。(図1、図2)
- (2) 予察灯(御浜町)における7月1日から20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは40,828頭(平成6,530頭)と、過去10年間で最も多い状況です。(図3)
- (3) フェロモントラップにおける7月第1週から第3週のチャバネアオカメムシの誘殺数は、山地(津市白山町川口)では2,709頭(平成1,316頭)、中間地(津市白山町二本木)では4,895頭(平成1,469頭)と、いずれも多い状況です。(図4)
- (4) 一般果樹園地の一部では飛来が確認されています。
- (5) 気象庁の1か月予報(7月30日名古屋地方気象台発表)では、気温は高い見込みであり、果樹カメムシ類の活動が活発になる可能性があります。

7 防除の注意事項

- (1) 飛来数は、園地による差が大きい傾向があります。夜間の照明等への飛来を参考に

するとともに、園地を見回り、飛来を確認したら薬剤防除を行ってください。過去に飛来が多かった園地では特に注意してください。

- (2) 果樹カメムシ類は日没後に活発になるので、夕方か早朝の薬剤防除が効果的です。また、近隣園地と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
- (3) ナシ、ブドウ等収穫期間近の品目では、収穫前日数に注意して散布を行ってください。
- (4) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
- (5) 薬剤は農薬登録情報提供システムで調べることができます。

農薬登録情報提供システム：<https://pesticide.maff.go.jp/>

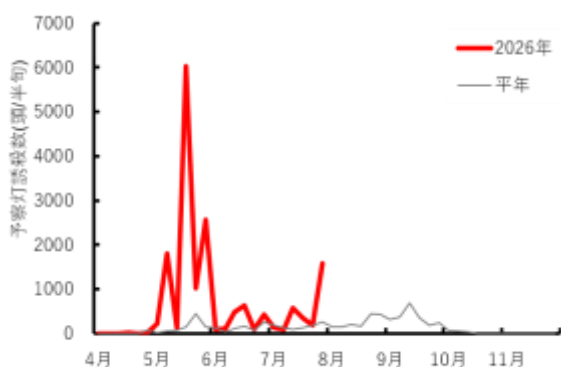


図 1. 予察灯(松阪)における
チャバネアオカメムシ誘殺数推移

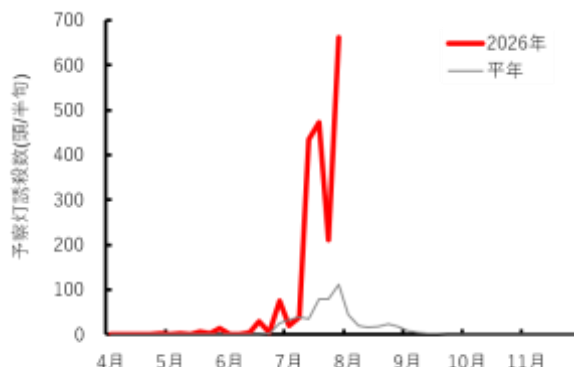


図 2. 予察灯(松阪)における
クサギカメムシ誘殺数推移

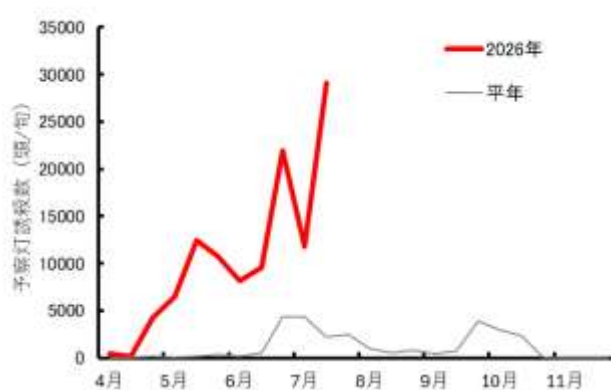


図 3. 予察灯(御浜町)における
チャバネアオカメムシ誘殺数推移

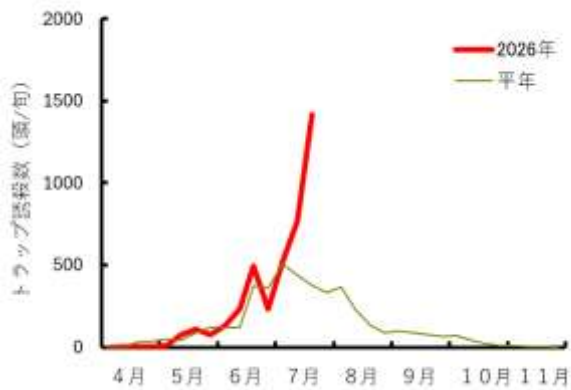


図 4. フェロモントラップ(津市白山町川口)に
おけるチャバネアオカメムシ誘殺数推移

8 問い合わせ先 三重県病害虫防除所 電話：0598-42-6365

予報発行時のeメール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→



農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。